

宮ノ下公園とワークショップについて

宮ノ下公園は、柄沢特定土地区画整理事業地内にあり、面積約15,000㎡の近隣公園（※）として整備が予定されています。この公園の計画にあたっては、近隣の皆さんとワークショップを行って、公園の基本計画づくりを行っていきます。

この新聞では、宮ノ下公園ワークショップで検討した成果をご紹介します。

※近隣公園：公園から半径500m程度の範囲にお住まいの方に利用していただくための公園で、広さは約20,000㎡を標準としています。



『ワークショップ』とは？

参加者の皆さんにご意見を出していただき、皆で整理し、皆でまとめる作業（協働）を用いた、創造や問題解決のための手法の一つです。近年では街づくりや公園整備の際に広く開催されており、藤沢市でも新しい公園を整備する際には、近隣の皆さんとワークショップを行い公園の整備を行っています。

第1回 宮ノ下公園ワークショップ開催！

「公園とは 写真による現地確認」

開催日：平成26年10月5日（日曜日）
10：00～12：00 柄沢中央町内会館

第1回は、事前アンケート結果や宮ノ下公園の周辺状況などを確認し、どのような公園になったらよいかを4班に分かれて話し合いました。第1回目のワークショップは26名（大人24名、子ども2名）の方にご参加いただきました。

宮ノ下公園は住宅地の中にあり、谷戸の面影を残す、段差のある地形となっています。また、計画地周辺には、大台公園や鞍骨公園、観音上公園などがあります。



出典 Google earth 2014年3月16日時点画像

□：宮ノ下公園予定 ー：歩行者専用道路

宮ノ下公園 位置図



宮ノ下公園 敷地模型
（雨水調整池完成時）

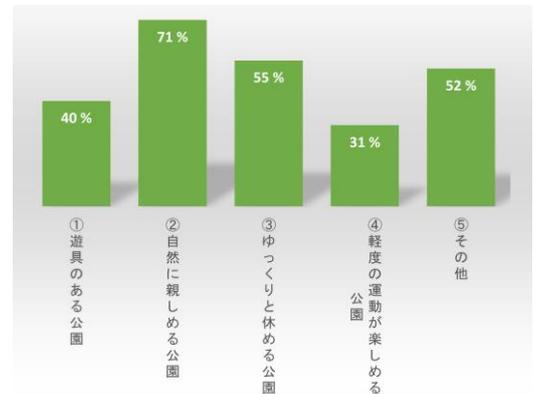
宮ノ下公園ワークショップ 事前アンケート結果

ワークショップに参加できない方から事前にアンケートでご意見を聞き、ワークショップ内で発表、検討させていただきました。アンケート回答数は65件です。

1. どのようなタイプの公園が良いと思われますか？

- 遊具のある公園 26件
- 自然と親しめる公園 46件
- ゆっくり休める公園 36件
- 軽い運動が楽しめる公園 20件
- その他 34件

その他の主な内容：「犬と散歩できる公園」「入口は有料にする」「薬草展示園をつくり学習の場とする」「蚊が発生しにくい公園」など



2. 公園で主に何をしたいと思われますか？

- 「散歩や散策をしたい」（22件）、「ゆっくり静かに過ごしたい」（11件）、「子どもを遊ばせたい」（11件）、「軽い運動をしたい」（8件）、「犬と遊びたい」（7件）、「お弁当を食べたい」（7件）、「球技（サッカー、野球、ゴルフなど）をしたい」（7件）、「お花見や花の鑑賞」（6件）、「ピクニック」（4件）、「自然体験」（4件）など
- その他の意見として、少数ですが「芝生で寝転びたい」「吹き矢をしたい」「セグウェイをしたい」といったものもありました。

3. どのような施設がほしいと思われますか？

- 「トイレ、オムツ交換ができるトイレ」（17件）、「水飲み場、水道」（13件）、「ベンチ、屋根付きのベンチ」（12件）、「ボール遊びできる広場」（9件）、「遊具、安心して遊べる遊具」（7件）、「池や川、せせらぎ」（5件）、「アスレチック」（5件）、「ドッグラン」（4件）、「あずまや」（4件）、「ストレッチ器具や健康遊具」（4件）、「散策路や遊歩道」（4件）、「時計」（4件）など
- その他の意見として、少数ですが「木陰」「桜並木」「外灯」「カフェ」「ゲートボール場」「テニスコート」「遊具はいらぬ」といったものもありました。

4. 公園整備に関するその他の意見（主なもの）

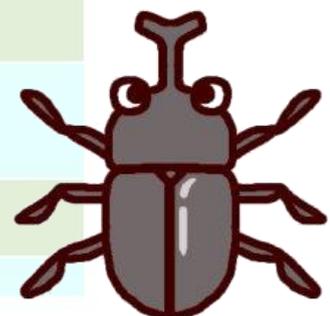
- 「雑木林はできるだけ手を入れなくて残してほしい」（5件）
- 「夜間の閉門が必要かと思われる」（2件）
- 「防犯のため周りから見やすい公園」（2件）
- 「ここは入らないで！というような場所は作らないでほしい」
- 「子どもたちが魚釣りや火を使う経験が出来る環境がほしい」
- 「車椅子でも出入りしやすい出入口・園路の整備をしてほしい」
- 「災害時の避難場所としても活用できるようにしてほしい」
- 「運営管理に高齢者ボランティアを活用する」
- 「害虫対策」 など

公園づくりへの思い・要望

公園への思いや要望を各自付箋に書いていただき、班ごとに模造紙に張りながら、皆で公園づくりの方向性を整理しました。

【A班の意見・要望】 ※カッコ内の数字は同様の意見数

分類	意見・要望
ゾーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣公園ということで、基本は小学生以降向けと割り切る ・遊具は極力少なくし、場所も限定する ・立ち入り禁止の場所はなくし、斜面を利用できるようにする ・休憩広場とボール遊びできる場所を分ける（2）※
休憩	<ul style="list-style-type: none"> ・日よけがほしい ・大台公園のようなあずま屋 ・休憩所がある公園
自然、植物	<ul style="list-style-type: none"> ・もともとの植生を活かしてほしい ・自然をなるべく残したい（木や水）。生き物（虫など）と触れ合える場所を子どもたちに残したい（4） ・花がたくさんある公園（2） ・できるだけ自然のままの環境で子どもたちが遊べる ・村岡地区の柄沢や藤が岡は自然がどんどん減っているなので、ぜひ、樹木や湧水を残してほしい ・水の流を必ず活かす ・安全な小さい池がある公園 ・四季の植物にふれあえるよう緑を残す ・子どもが土にふれる場所が大事、林も残したい ・子どもたちがそれぞれ自分たちの思いで、木登りや斜面登り、虫取りなどができる公園
イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・見た目が明るい公園、柄沢公園は木々が多いが暗い
芝生	<ul style="list-style-type: none"> ・広い芝生がある公園（3）
便益	<ul style="list-style-type: none"> ・車イス可。園路
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ、トイレ、水道は設置する ・オムツ交換が出来るトイレ ・トイレは危険がつきもの。夜間はカギをかけ管理する
管理	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈は植物の特性に合わせ、時期や方法を定める ・草木の整備（蚊がいない）
遊び、施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ遊具（背伸びなど、簡単なもの） ・シンボルとなる時計 ・ボール遊びが出来る場所の確保 ・高い斜面の所に見晴し台 ・広さを活かした公園（色々なものを置きすぎないのも大事） ・大型の遊具。ターザン等のアスレチック。長いローラーコースター（すべり台）を作りたい ・砂場はほしい。犬や猫のフンはない方がいい ・ドックランは別箇所で！
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラを設置 ・災害時に支えになるような広場がほしい
利用	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな世代の人が集い憩える公園
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの公園で機能分担する



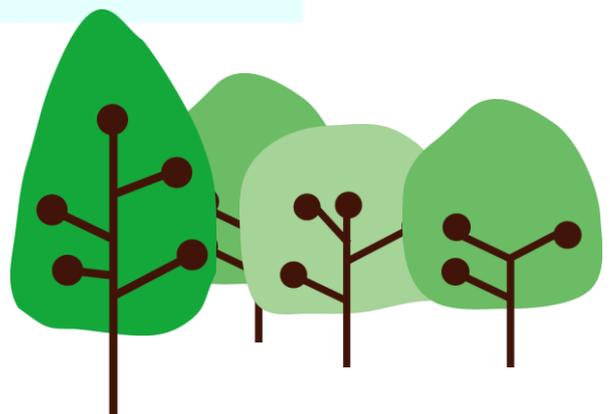
【B班の意見・要望】

分類	意見・要望
お弁当	・お弁当が食べられるベンチ、テーブル（2）
じゃぶじゃぶ池	・じゃぶじゃぶ池
木の実・探検	・探検できる森の様などところがある ・マツボックリやドングリ拾いができる ・食べられる木の実がなる
ピオトープを活かす	・池でカモや魚などを見て楽しめる ・トカゲ、魚、カエルなど、野生の生物がいる公園（ピオトープ） ・わき水を残して、生き物がいる池を整備する ・ピオトープは有効活用してほしい
高低差を利用	・元々あった地形を残し、高低差がある公園をつくる
遊具の充実	・子どもの遊具は安全でシンプルに ・遊具が充実
芝生広場	・芝生広場がほしい
自然を残す	・自然が沢山残っている。木、緑、水 ・自然と親しむ公園、樹木を大切にする ・湧水を利用してメダカ、カエル、ホタルを生息可能に ・自然は出来るだけ残すこと（復元できるだけ） ・遊歩道があり、ベビーカーや車イスも通りやすい ・四季が感じられる樹木（サクラなど）
杉の木を伐採	・杉の木を伐採してほしい
駐車場	・駐車場がほしい
施設管理	・施設の管理に配慮する ・公園周辺への悪影響にならないように配慮 ・公園のメンテナンスの簡素化 ・周辺樹木の高さ制限 ・常緑樹の植栽
防犯対策など	・防犯対策を徹底する ・人目が行き届く（死角がない。防犯カメラの設置） ・見通しの悪い場所（死角）をつくらないでほしい ・自販機は設置しない
ボール遊び	・ボール遊びができる（2） ・球技が出来るスペースを作ってほしい
軽い運動	・健康遊具 ・ウォーキング出来るように（公園内の外周） ・運動ができる公園 ・軽い運動（ストレッチなど）ができる施設
休憩施設	・あずま屋 ・藤棚がある ・屋根付きベンチ ・ゆっくり休める公園 ・木陰ができる



【C班の意見・要望】

分類	意見・要望
健康遊具	<ul style="list-style-type: none"> 健康を維持する。ストレッチ・体づくり用の遊具の設置 高齢者用遊具 健康ウォーキング（踏み石などがある）を設置してほしい
特徴のある遊具	<ul style="list-style-type: none"> 遊戯（鉄棒、ブランコ、回るもの、他の公園にないもの） 法面を利用した高いすべり台
ボール遊び	<ul style="list-style-type: none"> ボール遊びが出来るとうれしい。一部分でもよいので、柵などを設けてほしい（2） スポーツが出来る公園。たとえばバスケットゴールを置いてもらうとか
防犯	<ul style="list-style-type: none"> 明るい公園。外灯とか。虫の問題もあると思いますが マクドナルドあたりが中高生のたまり場にならないように配慮してほしい（特に入口） 夜に人が集まらないような公園 防犯を考えてほしい（2）
樹木	<ul style="list-style-type: none"> 常緑樹（落ち葉が出ない）（2） ここにはこれがあるという特徴ある公園くぬぎをいっぱい植える。かぶと虫やくわがた虫がいっぱいいる 高い木は半分に切り整備 木の整備。雑木林はいらぬ。木を切ってほしい 高さを半分にして、見通しをよくしてほしい
施設	<ul style="list-style-type: none"> ドックランは絶対にいらぬ（2） 芝生のある公園（2） じゃぶじゃぶ池 湧水もたいして出る訳ではなく、蚊や落ち葉でこれから先、むしろない方がよい。デング熱等、蚊の発生が心配 公園の中に木が茂りすぎ、落ち葉で近隣に住む者として整備して、明るい公園にしてほしい。人が歩ける位が望ましい。ピオトープなどは住宅地に必要ない トイレの設備。時間で開閉（2） きれいなトイレ 屋根のある休憩所
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場は必要（2）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 公園の周り（園内）を気持ちよくランニングや散歩できるようにしてほしい。トラックなどにする（2） 子どもの通学路になっている。死角がないようにしてほしい 安全、けがをしない 周りから大人の目が届くように。明るく、いこいのある公園 道路に面する法面の整備をする 公園の周囲の木の整備をする



【D班の意見・要望】

分類	意見・要望
水辺	<ul style="list-style-type: none"> ・湧水は残す。水辺に利用できる ・防災対策のために湧水は絶対保全確保すること
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性の高い場所、防犯カメラ設置（2）
駐車場・駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の整備（2） ・駐輪場がほしい
緑の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・散策できる。日向と日陰のすみわけ ・散策（ウォーキング）コースがほしい ・林の中に遊歩道を造る ・自然に親しめる ・斜面に階段を設置する ・東側に植林（高木）をする ・緑地確保のために下りれる場所を3か所くらい確保
管理	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての管理を永久に（管理の行き届いた公園） ・現状の緑（木）は低く（落ち葉を少なく） ・住民の手作り 花壇のスペース確保
多目的	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的レクリエーションの場所の確保 ・平らな部分を3分割して利用目的に合わせる（スポーツ含む） ①サッカー等が出来る区域、②遊具のある区域、③花壇のある区域を分ける ・多目的広場（イベント広場）の整備 ・軽い運動が出来る ・子どもの遊具が充実（2）
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・防災避難場所として使う ・防災無線がほしい
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ設置。特に、防犯上良好なもの（2） ・あずま屋を造る ・屋根付きベンチを設置（2）
整備の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ①樹林を保全し、散策などが出来る公園 ②広場を活かし、多目的（イベント・スポーツ・遊び場）広場のある公園 ③水辺のある公園（湧水の利用・保全）



ワークショップの様子

参加者からのQ&A

第1回のワークショップの中で、参加者の皆さんから出された主な質問と、その回答を紹介します。



Q1. ゴミ箱がなく、ゴミが散乱しています。ゴミ箱は設置できますか？

A1. 公園にゴミ箱を置くと、家庭ゴミの持ち込みが多くなります。その対策を含めて、以前より市では公園のゴミ箱の設置を取りやめています。今回の宮ノ下公園の場合も同様であり、設置は原則として致しません。

Q2. 雨水調整池が整備される上面では、どの程度の重さまで載って大丈夫ですか？

A2. 遊具やあずまや程度であれば大丈夫ですが、築山はむずかしいです。数値でいうと上限は8.9KN/m²です。また、調整池との関係で、高木（樹高が3m以上の樹木）の植栽は出来ません。

Q3. ワークショップで話し合う公園の範囲はどこまでですか？周囲の住宅地と接する部分も含まれますか？

A3. 公園周囲の道路との境界までが公園敷地ですので、公園を取り囲む道路との境界のところまでがワークショップで話し合う範囲に含まれます。

Q4. 湧水は枯れてしまったら、おしまいとの話ですが、枯れないような工夫は出来ませんか？

A4. 今回のワークショップでは、湧水については、あくまで残った場合は活用していくという方針です。湧水を残すことに関しては、必ず残すというお約束は出来ません。

Q5. ワークショップで検討したものは、実現されるのですか？

A5. 今回のワークショップでは、4回の話し合いの中で検討した結果をワークショップ案として市に提出して頂きます。市はそれを最大限に活かしながら設計することとしています。

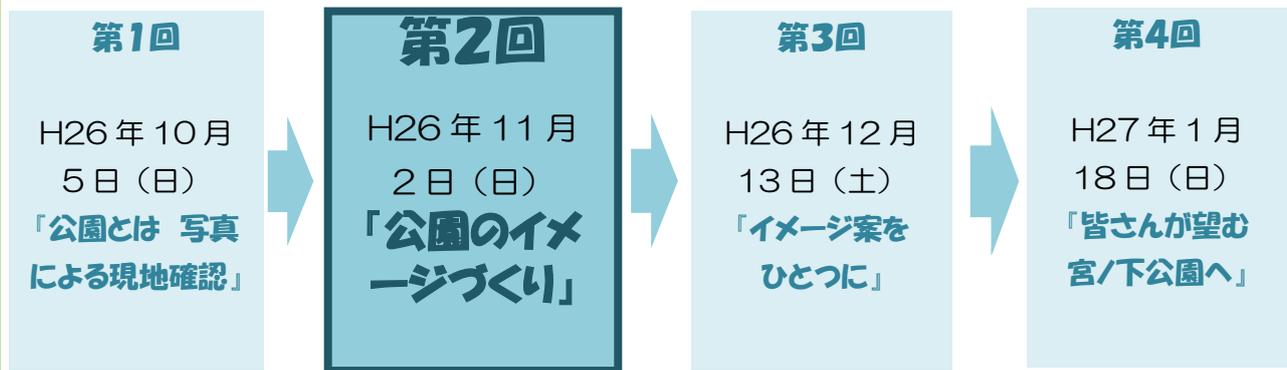


第2回ワークショップのスケジュール

次回、第2回ワークショップのテーマは
『**公園のイメージづくり**』です。

第1回ワークショップの成果を膨らませて公園の敷地を用途ごとに空間分けをしてみたり（ゾーニング）、その空間に合った施設を考えたりして、公園の大まかなイメージを話し合います。

【日時・場所】 平成26年11月2日(日曜日) 10時00分～12時00分
柄沢中央町内会館



※第2回からの参加も可能です。皆さま、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。その場合、資料準備などの都合上、事前にご連絡をお願いいたします。

★第1回宮ノ下公園ワークショップ及び、この新聞の内容について、ご意見・ご要望等ございましたら、郵送・FAX・Eメールにて下記までご連絡下さい。

連絡先 藤沢市 都市整備部 公園みどり課
宮ノ下公園ワークショップ担当
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
TEL：0466-25-1111（内線4314）
FAX：0466-50-8421
Eメール：kouen@city.fujisawa.kanagawa.jp

